翔鷹

アブダビ日本人学校　学校だより

令和２年度
12 月号
R2.12. 1 発行
編集：教頭

むごい教育

教頭　佐藤　康二

江戸幕府を開いた徳川家康は、人質（ひとじち）として育てられた時期がありました。

家康が未だ幼く、竹千代（たけちよ）と呼ばれていた頃の話。駿河（今の静岡県）を治めていた今川義元（いまがわよしもと）は、戦略的に竹千代を人質に取りました。義元は教育係の家来に「よいか、竹千代にはくれぐれも**むごい教育**をせよ。」と厳命しました。

数年後、義元は家来を呼び、「竹千代はどのような様子であるか？」とたずねました。家来は待ってましたとばかりに答えました。

「はい。寅下刻（とらのげこく=AM5:00）には起こし、水練（すいれん=水泳）をさせ、食事は粗食（そしょく）のみ与え、昼間は剣術（素振りとかかり稽古）をへとへとになるまで励ませ、厠の始末（かわやのしまつ=トイレ掃除）を当て、夜は素読手習（そどくてならい=読み書き）を姿勢正しく継続させております。言いつけ通りむごい教育をしておりまする。」

この報告を聞くと、今川義元は烈火の如く激怒し、「たわけ者！それはむごい教育とは言わん。朝は好きなだけ寝かせておけ。山の幸、海の幸あふれる贅沢な食事を存分に食べさせ、支度始末（したくしまつ=準備後片付け）はさせなくともよい。剣術稽古や素読手習（運動や学問）なぞ決して無理強いせず、嫌いなら止めさせよ。そして、欲しがる物は何でも買い与え、望む事は早急に叶（かな）えてやれ。人質こそ、あまく育てるのじゃ。」驚き、かしこまっている教育係の家来たちに痛烈な一言。

「そのような教育をすれば、たいていの子どもはだめな人間になるから。」

是非はさておき、教育係の家来にむごい教育？をされた人質はどんな人間になったでしょうか。

竹千代は成長し、徳川家康の勇名を馳せ元亀天正（げんきてんしょう）の戦乱・激動の社会をたくましく生きます。人一倍の戦功を重ねるも織田信長の後塵（こうじん）を拝し、忍耐強く時節到来待つこと十数年。やっと実力日本一と評された頃、今度は信長の家来豊臣秀吉に天下を取られ、家康は江戸に転封（転勤）させられます。都から遙かなる遠国（おんごく）関東の荒野江戸。ここでも家康は弛（たゆ）まず怠（おこたら）ず領地を拡大し家来を増やしていきます。

そして 1600 年関ヶ原、天下分け目の戦い。人生の盛りをとうに越えた東軍大将徳川家康 60 歳、対する西軍豊臣方大義名分気鋭の大将石田三成 39 歳。大方の予想は西軍有利でした。しかし、竹千代時代逆境を忍耐で乗り越え、早起きと質素な生活、持続可能な反復学習、深い考えと行動実践で身に付けた**知恵**と**力**と**人徳**で、見事東軍を勝利に導き、征夷大将軍となり江戸幕府を開きました。

関ヶ原で劇的逆転サヨナラ勝ちを収めた東軍家来が鎧甲・具足（かっちゅう・ぐそく）を緩（ゆる）めて勝ちどき（ガッツポーズ）を上げようとすると、徳川家康はこう戒（いましめ）たと伝えられています。

「勝って兜（かぶと）の緒を締めよ。」

厠の後始末で学んだまとめ、ふりかえりの知恵でしょうか。家康は努力と忍耐で勝ち取った将軍の座を、わずか 2 年で退くことでさらに人徳を高め、天下を取る戦国時代から、天下を持続する江戸時代 260 余年の太平の世を築いたのでした。

【 12月　　December 】

日	曜	主な行事（授業日数　２２）
1	火	殉職者記念日　お休み
2	水	ナショナルデー
3	木	ナショナルデー
4	金	
5	土	
6	日	グループA登校
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	個人面談・グループB登校
14	月	個人面談
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	グループA登校
21	月	２学期終業式
22	火	冬季休業日
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	※三学期始業式　１／５（火）

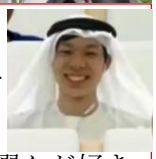
ADEKの規制によりG6～G9はe-Learningが継続されます

＜フラッグデー＞

11/３（火）はフラッグデー。UAE 建国記念日の今月ナショナルデーに向けて街中に国旗掲揚を推奨する幕開けです。本校ではこの日 G5 ナヒヤーン君が全校放送で UAE 国旗の意味･込められた願いを元気いっぱい発表してくれました。

「UAE 国旗には 7 つの首長国の下の国旗の色を含むデザインで、緑は豊かな国土、白は清浄な生活､黒は過去の圧政や戦争を、赤は勇敢・強さ・聖戦によって流された尊い血の犠牲を表しています。」

＜第３回エミラティ集会＞



11/2（月）に第３回エミラティ集会がカンドゥーラを纏(まと)った岡本先生の司会進行で行われました。今回の集会では、NPO の先生方主催の漢字検定の表彰と各自が選んだ好きな漢字を発表しました。G2 の児童は全員合格し賞状をもらって満面の笑顔、それぞれの漢字に対する思いを発表することで、漢字に慣れ親しみ、たくさん覚えていってほしいと思います。次の漢検も皆さんが良い点を取り、合格することを期待しています！

＜電子黒板が教室に導入されます！＞

校長先生と私(教頭)着任のお土産？と言うとおこがましいですが、コロナ禍オンライン授業に取り組むアブダビ日本人学校の努力を文科省、海外子女教育財団に訴え、更なる ICT 整備事業に応募したところ、G1～G9 教室と体育館等に大型電子黒板導入が認められました。写真はデモ版（お試し用）黒板を使って、早速児童が使ってみたり､先生方が研修会を開いて下さっている様子です。教室の授業もオンライン授業も、本校は「わかる授業、楽しい授業」をさらに進化させていきます！電子黒板をどんどん活用してください！